

# 小栗上野介情報 65

ホームページ <http://tozenzi.cside.com/>

Eメール: [sharmila@theia.ocn.ne.jp](mailto:sharmila@theia.ocn.ne.jp)

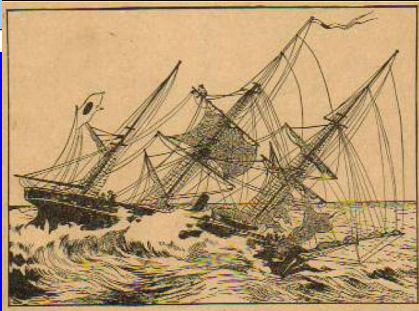
2016(平成28)年 9月

発行 東善寺 住職 村上泰賢

群馬県高崎市倉渕町権田169

〒: 370-3401 TEL&fax: 027-378-2230

振替 00120-1-406206 東善寺



## 「咸臨丸軍艦奉行木村撰津守喜毅は副使」説 「副使が乗る船が咸臨丸」説 は間違い

近年、「木村喜毅(きむらよしただけ)は遣米使節副使」とか「正使はポウハタン号で、副使は日本で仕立てた船咸臨丸・・・」とする説が、いくつかの本やHP・ブログで見られるようになりました。以下のとおり明らかに間違った説といえます。

「木村喜毅が副使」説は…「木村喜毅は遣米使節に万一の時の代理役だから副使と同等」としています。でも

◇幕府が命じた遣米使節は正使新見豊前守正興、副使村垣淡路守範正、目付小栗豊後守忠順の三名。正使副使が万一の時の臨時代理役は木村喜毅一人ではなく三人いました。次の順番です。 1, 目付小栗忠順(又一)(ポウハタン号) 2, 木村喜毅(咸臨丸) 3, 勘定組頭森田岡太郎(ポウハタン号)

**万一の臨時代理は三人**  
1、小栗又一は両使が万一のときは一人でも代役すべし

○目付下知状案

小栗 又一

一外国奉行病氣其外万一意外之差支も有之節は其方儀者人二而も御使可相勤事右條々厚相心得外国奉行可申談もの也(外国奉行が病氣などで万一の支障があるときはお前は一人でも使節を務めることを心がけ、外国奉行と相談しておきなさい)  
\*日付不明。安政六年九月の使節任命の直後と思われる。

**2、使節に病氣等が生じた際は代役を木村撰津守喜毅に**

○新見豊前守外二人疾病等ニテ使節勤メ難キ節ハ代リテ使節タルベシト木村撰津守ニ指令(安政七年) 庚申正月九日 木村撰津守

今度重墨利加国江被遣候御使之面々御用中若病氣等に而何も差支え候節者其方御使相勤候心得に而可被罷在候(何も：いずれも正使・副使・目付三人とも支障があるときは代理を務めなさい)

**3、森田岡太郎は代役の代役を心得よ**

(安政七年) 庚申正月九日 森田岡太郎

今度重墨利加国江被遣候御使之面々並木村撰津守共御用中若病氣等に而何も差支え候節者其方御使相勤候心得に而可被罷在旨可被申渡候(御使遣米使節三名と木村喜毅が病氣などで支障がある時は代理を務めなさい)

《『幕末維新外交史料集成 第四巻』修好門》

・いずれも「副使」の職名は与えていない。

・代理だから副使と同等副使、とする論理は後世の一部の人が「副使にしたい」だけの無理な話で、もしこの論理が通るなら、1, 2, 3の順序でまず小栗忠順が副使と言えるはず。

◆最近の本では…『咸臨丸の絆』 ▼宗像善樹著(海文社・2014平成26年)に 会話体で

「上様におかれては、木村図書に特別の思召しがおありでござる。それは…別船を仕立て、副使の木村図書を軍艦奉行として差し遣わし、彼の地へ向かわせよ、との御沙汰である」

…として將軍家茂の「内命」があったと記述しているが、創作会話の中でのフィクションは史実といえない。この代理人事は思わせぶりに「内命」などと隠し立てする内容ではない。むしろほかの使節たちが前もって承知しているべきことだから、上記1, 2, 3のように公式指令が出されている。公式文書がなくて「木村喜毅が遣米使節副使」説は通らない。\*この本の帯で 歴史ドキュメントとしているが、創作会話が入っているのはドキュメントといえない。フィクションとすべき。

■詳しい史料など…HP「東善寺」をご覧ください。『たつなみ』42号(来年9月発行)にも掲載予定です。



◆「木村喜毅が副使」説はなぜ…1961昭和36年に『遣米使節史料集成』が発刊され、ブルック大尉の「咸臨丸日記」から咸臨丸の実態が知られて、戦前の修身教科書の勝海舟・咸臨丸で教えられた勇ましいイメージが崩れた。これ以前の書物に「木村喜毅の副使説」は見られないから、イメージが覆った咸臨丸の格上げ復権を図る動きとして出てきたのでしょうか。

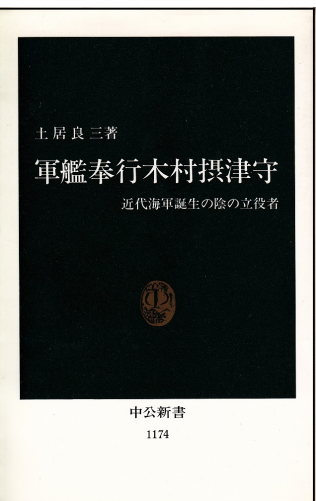
◇近年のテレビや映画で勝麟太郎が咸臨丸で活躍する画面が出てこないのも、描けなくなったからです。

◆初出の本は…▼『軍艦奉行木村撰津守』土居良三著(中公新書1994平成6年)に

「正使に万一の支障があった場合、代るべき副使を乗せるための船という名目で、その副使に軍艦奉行を当てることとした」「別船に乗る副使」「別船を副使の乗る船としたのは…」 「正式に遣米副使として咸臨丸に搭乗」  
…としているのが初出と思われます。

・木村喜毅が「遣米使節・副使」に任ぜられた公式記録は見つかりませんから、根拠不明の話です。

■いままも中学高校の歴史教科書で「遣米使節」の説明に使われている《遣米使節が乗っていない咸臨丸》の絵をはずし、遣米使節一行のワシントン海軍造船所見学写真を載せるべきです。

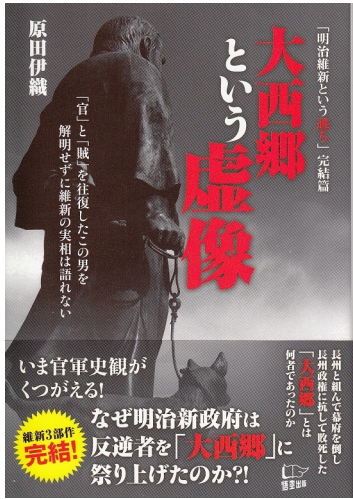




本

◆『大西郷という虚像』

原田伊織著 (悟空出版・2016平成28年)

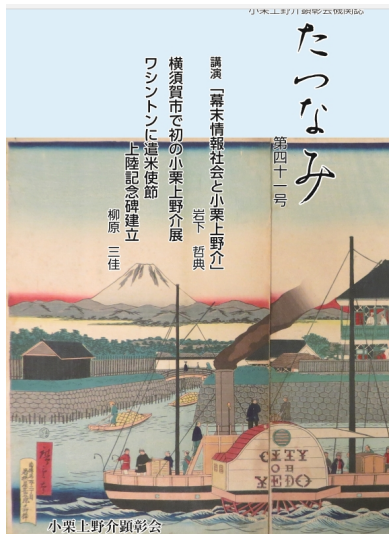


「官」と「賊」を往復したこの男を  
解明せずに維新の実相は語れない。  
というサブタイトルで、『明治維新と  
いう過ち』『官賊と幕臣たち』に続く  
幕末三部作の完結編という。折しも、  
再来年の大河ドラマは『西郷どん』と  
いう。赤報隊に年貢半減令を言わせな  
がら、後にこれを「ニセ官軍」として  
下諏訪で東山道軍に斬殺させたのは西  
郷。小栗主従を殺害したのも同じ東山  
道軍。本書とドラマでどう扱う  
か。興味深い。

小栗上野介顕彰会機関誌

◆『たつなみ』41号 発行

小栗上野介顕彰会は機関誌『たつなみ』41号を発行した。表紙をカラーとし、小栗まつりで岩下哲典東洋大学教授がペリー来航の様子を『金海奇観』の豊富な画像で伝えた講演要旨もカラーページで、画像がより鮮明になった。広告が増え、応援のメッセージをつけて全国から小栗ファンが力づけてくれる心意気を感じられ、広告も楽しいページとなっている。



■主な内容…小栗まつり／講演要旨「幕末情報社会と小栗上野介」岩下哲典／横須賀市で「小栗上野介展」・ヴェルニー小栗祭／ワシントンに遣米使節記念銘板（記念碑）建立・柳原三佳／安積良斎「小栗忠政画像記」の訓注・安藤智重／対馬事件の史跡を訪ねる（四）／資料紹介『柴田日記』の小栗父子主従斬首前後の記録／森村新蔵「享和以来新聞記」の小栗騒動／『牧野清五郎の借金証文』など

◆ BS ⑦ジャパンで放映します 10月15日(土)  
21:00~23:00



井沢元彦の逆説の日本史

～徳川幕府滅亡の真実～

明治維新のヒーローと言えば坂本 龍馬。「坂本龍馬」＝日本を変えようという志を持った男。実は幕府側にも未来の視線で日本を変えようと志を持った男たちがいました。一人目は江戸幕府の幕臣であり日米修好通商条約批准のためアメリカに渡った男、小栗上野介。二人目は第10代佐賀藩藩主「鍋島直正」のちの「鍋島閔叟」。そして時代は遡りますが幕府を救う最も有効な財政再建策を試みた田沼 意次。もしも徳川幕府がこの3人を味方にしていたら、幕府は滅亡することなく生まれ変わっていたかもしれない…【番組梗概より】

◆ BS ④日テレ 6月26日に放映



「幕末史から消された男、日本近代化の立役者 小栗上野介の死の謎を追え！」

「わかりやすい」と好評でした。見逃した人も、見た人も一電話・メールで「アンコール放送して…」とお伝えください。

03-6215-4444 日テレBS \*東善寺でも見られます。

寄せられた感想 ・これまで一部の人しか知らなかった事実が、写真や新聞記事、アメリカのイラスト、文献を多く紹介しながら映像化した傑作。

住職も堂々としていて見事でした。見ている人も目から鱗が落ちたのではないのでしょうか。／・住職が主演級出演され、穏やかな口調で大変分かり易い解説をされた番組、しかと録画し拝見しました。調べ上げた事実裏付けされた歴史の解説は、初めて見る人にも大変説得力があり印象深い番組であったと存じます。私の同僚から大変感動したとの感想がありました。小栗ファンがこの放送でまた増えたことと拝察致します。お寺の画像も拝見し、私もぜひお参りに伺いたいと思っております。



◇幕末の歴史・小栗上野介ファンの方へ

会員になって下さい——— 東善寺 たつなみ会



倉淵町の小栗上野介顕彰会ではさまざまな顕彰活動を行っていますが、倉淵地区の人口減で顕彰会員が減っています。東善寺の「たつなみ会」会員には、顕彰会機関誌『たつなみ』を発行のつど顕彰会から購入してお送りし機関誌代が顕彰会の活動資金に役立っています。また東善寺発行の「小栗上野介情報」や「東善寺だより」などで、小栗上野介・幕末関連の最新情報をお送りします。 □たつなみ会会費 年1300円

□お申し込みは：東善寺へメールまたは電話、ハガキで

□ご送金は：郵便振替「東京00120-1-406206東善寺」へ